

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスわかばの杜 安城		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 20日		2026年 3月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26 (回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2026年 2月 20日		2026年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	おでかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ごはん作りや外食体験は月に1度入れる ・行先は年に1度で同じ場所が繰り返されないようにしている ・外を歩ける時期はウォーキングと室内遊びを交互に入れる ・日々のリサーチを欠かさない 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい施設など、SNS等で新しいおでかけ先を増やす
2	おやつ作り	<ul style="list-style-type: none"> ・その日のメンバーを見て食べられないものや苦手なものを避けておやつを作る ・誕生日が近い又は当日の場合は誕生日会を行う ・お手伝いが出来る子には、練習として一緒に作ってもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの苦手な物、好きな物を把握し食べられるおやつを増やしていく。苦手の食材も少しずつ克服していく。 ・子どもと一緒に作る機会を増やしていく
3	幅広い年齢層による関り	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校や支援級、普通級関係なく自由に関わることが出来るようにする ・工作やおでかけで年齢関係なくペアを組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立課題や感覚統合を行う中で、得意なもののお手本をしてみたり、得意な科目を教え合ったりと年齢に関係なく自分の好きな事や得意な事を活かして人と関われる機会を作る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務による職員負担が多いため、利用者にやってあげたいことや準備しておきたいことができない。スキルアップの時間が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・提供票や業務日誌などが手書きの為、一つ一つに時間が掛かる。 ・連絡帳も次回利用日を確認して記入するなどがあるため、子どもの利用時間に事務担当は連絡帳と業務日誌で手一杯になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月からはデジタル化になるため、一つずつにかかる時間を減っていくので子どもと関わる時間を増やしていける。
2	保護者と情報共有する機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者によっては、送迎時間に家に保護者がいない時間で話をする機会が少ないことがある。 ・両親ともに働いている家庭が多いため、お迎えの対応が祖父母・兄弟の場合が多い家庭がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に会えなかったときには直接電話で伝えたり、SNS等でやり取りをするなど随時細やかな情報共有を心がける。 ・タイミングよく保護者の方に会えた際には事業所の様子に加え、家庭や学校での様子などもお聞きする。
3	自立課題の入れ替えを定期的に行えていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の事務等の業務によって自立課題を作成する時間が少ない。 ・色々に入れ替えたいものは考えていても、作成に時間が掛かることもあり定期的な入れ替えが困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立課題を作成する期間や、入れ替えのスパンを明確化して取り組んでみる。 ・普段の子どもたちの取り組みの中で改善して欲しいものや、必要そうなものの聞き取りを行う。 ・アセスメントから利用者に必要な課題で作成していく。